

WOOD TRIMMER MACHINE MANUAL



警告：

すべての安全指示をよくお読みください。
以下に記載されているすべての安全対策を怠ると、感電、
火災、および／または重傷を負う可能性があります。



**Read through carefully and understand these instructions
before use**

13. 手を伸ばしすぎないでください。回転部分から手を離してください。常に足と体のバランスを保つようにしてください。

14. 釘を切断しないように注意してください。作業前に、加工物からすべての釘を確認し、取り除いてください。

15. 適切な服装をしてください。だぶだぶの服やアクセサリーを着用しないでください。髪、服、袖を可動部分から離してください。だぶだぶの服、アクセサリー、または長い髪は、可動部分に巻き込まれる可能性があります。

注意：工具を電源に接続する前に、電源がオフになっていることを確認してください。

使用とメンテナンス

1. 電動工具を酷使しないでください。適切な電動工具を選んでください。そうすることで、良い結果が得られ、比較的安全です。工具の指定された負荷容量内で使用する必要があります、スイッチが入らない工具を無理に使い続けたり、電源を入れたままにしたりしないでください。

2. 屋外で工具を使用する場合は、必ず屋外用の延長コードを使用してください。** 屋外用の延長コードを使用することで、感電のリスクを軽減できます。

3. 切削工具は鋭利で清潔に保ってください。手入れの行き届いた、刃先の鋭い工具は、詰まりにくく、操作も簡単です。

4. 注意：ガソリン、ベンゼン、シンナー、アルコール、または類似の物品で工具を清掃しないでください。** これらを使用すると、工具の変色、変形、またはひび割れの原因となることがあります。

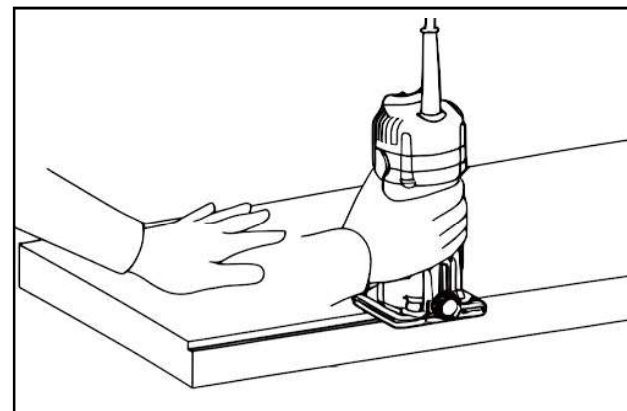
注意：常にツール本体を片手でしっかりと持ち、金属部分に触れないでください。

加工する加工物の上にベースを置き、木工トリマーヘッドと加工物が接触しないようにしてください。

ツールを起動し、木工トリマーヘッドが最高速度に達するまで待つてから作業を開始してください。

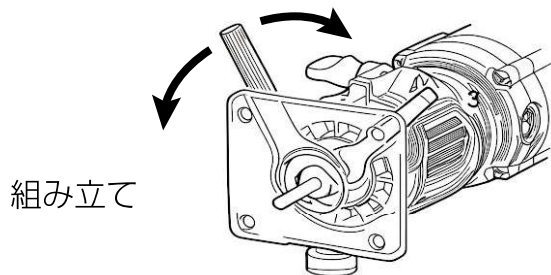
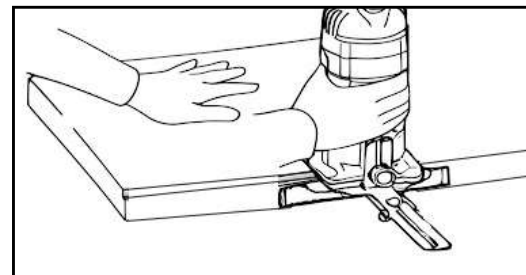
加工物の表面を前方にツールを動かし、ベースを水平に保ち、切断作

業が完了するまでスムーズに前方に押してください。



ストレートガイドプレート

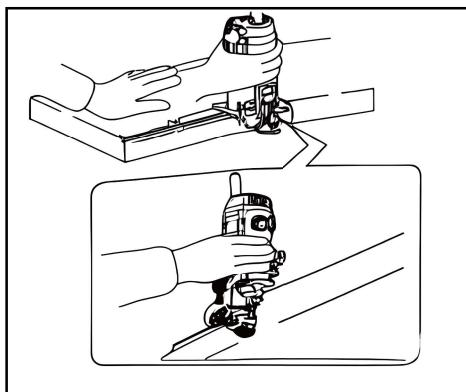
直線の切削にストレートガイドを使用することは、斜め切削を行う際に特に効果的です。



組み立て

木エトリマーガイド

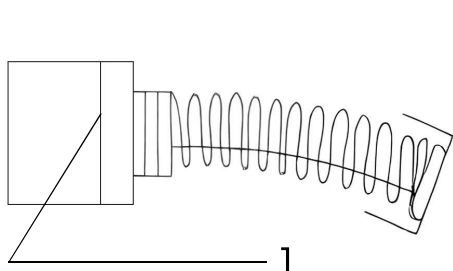
木エトリマーガイドを使えば、家具の化粧板のトリミング、曲線カット、その他同様の作業を簡単に行うことができます。ガイドローラーが曲線を切り出し、きれいに仕上げます。



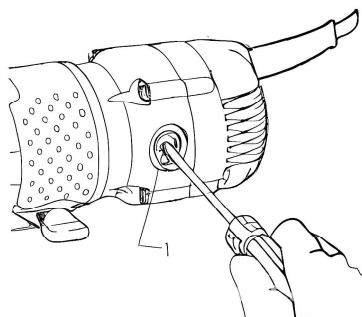
カーボンブラシの交換

カーボンブラシは定期的に点検してください。リミット摩耗線まで摩耗したら交換してください。ブラシは清潔に保ち、ブラシホルダー内でスムーズにスライドするようにしてください。両方のブラシを同時に交換する必要があります。必ず同じブラシを使用してください。

1. ドライバーを使ってブラシホルダーカバーを取り外します。
2. 摩耗したカーボンブラシを取り外し、新しいブラシを挿入し、ブラシホルダーカバーをしっかりと締めます。



摩耗限界線



カーボンブラシクリップカバー

主な用途

このツールは主に、木材、プラスチック、その他類似の材料のトリミング（縁取り）やプレス加工に用いられます。

電気安全に関する指示

作業場は常に清潔で明るく保ってください。電源プラグは電動工具のコンセントに適合するものを使用し、絶対に改造しないでください。アース線付きの電動工具を変圧器を介して使用しないでください。改造されていないプラグと、アースされたコンセントを使用することで、感電のリスクを減らせます。散らかっていたり暗い作業場や作業台で電動工具を使用すると、事故につながる可能性があります。可燃性液体やガス、または粉塵などの爆発性雰囲気のある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花が、これらの粉塵やガスに引火する恐れがあります。作業中は、鉄パイプ、ラジエーター、冷蔵庫などのアースされた金属部分に体が触れないようにしてください。体がアースされていると、感電のリスクが高まります。お子様を近づけさせず、関係者以外が作業場に入ることを禁じます。集中力が途切れると、機械の制御を失う原因となります。電動工具を雨にさらしたり、湿気の多い環境に置いたりしないでください。電動工具に水が侵入すると、感電のリスクが高まります。コードを踏んだり、コードを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。コードを引っ張ってツールを移動させないでください。また、コードが高温の物体、鋭利な金属の縁、可動部品、または粘着性の濡れたグリースに触れないようにしてください。損傷したコードや絡まったコードは、感電のリスクを高めます。個人の安全：電動工具を操作する際は、常に注意を払い、作業に集中し、覚醒している状態を保ってください。疲れているとき、薬物、アルコール、または治療の影響下にあるときは、電動工具を操作しないでください。安全装置を使用してください。常に保護ゴーグルを着用してください。長時間作業する場合は、耳栓または耳あてを着用してください。不意の起動を避けてください。プラグを差し込む際は、スイッチが必ず OFF の位置にあることを確認してください。電動工具の電源を入れる前に、すべての調整キーやレンチを取り外してください。